

## M23b フレアアラートの配信システム

飯塚 康至、桜井 隆 (国立天文台)、萩野 正興 (明星大情報)

太陽は地球に一番近い恒星であって、小口径の望遠鏡でも科学的成果に結びつく観測が可能であり、そのため多くの観測所や公共天文台で観測が行われている。観測のテーマは多岐にわたるが、主たるテーマの一つが太陽面爆発 (フレア) の観測である。フレアのような突発的な現象の観測は、どんなに良い装置を備えた観測所でも、その時間に晴れていて、しかもフレア領域をねらっていなければ成功しない。稀に起こる大きなフレアほどこの傾向があるので、望遠鏡が小さくても、機動力を活かした寄与が可能である。フレアの研究は、他の天体で起こっている様々な爆発現象の典型例としても重要である。

現在の電子機器の発達により、観測当日の機器の立ち上げ以降、観測はほぼオートメーション化した状態になる。観測メはその間、機器の監視を行うのであるが、同時に他のタスクもこなさなければならない。このような状況下で観測領域外でフレアが発生した場合、観測のチャンスを見過ごす恐れがある。

そこで、フレアの発生をプッシュ配信にて知らせてくれるシステムを構築したので報告する。システムは以下のような3つの特徴をもつ、(1)NOAAのサイトに5分ごとにアクセスしGOES衛星の最新の情報を表す、(2)フレアの規模がMクラス以上の場合、登録メにメールを配信する、(3)GOES-Plotを携帯電話から閲覧するのに最適化して表す。このシステムに携帯電話のメールアドレスを登録することにより、ほぼリアルタイムにフレアの発生を知ることができる。(URL <http://www.soho-style.org/flare>)